

婚約者の友人 (2016)

FRANTZ

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争 ミステリー

製作国 フランス/ドイツ

色彩 B&W/C

時間 113分

初公開日 2017/10/21

公開情報 ロングライド

映倫 G

【キャッチコピー】

彼の正体が明かされた時、
新たな謎の扉が開く――

【解説】

「8人の女たち」「スイミング・プール」のフランソワ・オゾン監督がエルンスト・ルビッチ監督による1932年の反戦ドラマをミステリー色を強めてリメイク。第一次大戦直後のドイツとフランスを舞台に、戦争で婚約者を亡くしたドイツ人女性と、そんな彼女の前に現われた亡き婚約者の友人だという謎めいたフランス人青年との心温まる交流と、青年が抱える秘密と葛藤を、モノクロとカラー映像を織り交ぜミステリアスなタッチで描き出す。主演は「イヴ・サンローラン」のピエール・ニネとオーディションで選ばれたパウラ・ベア。

戦後間もない1919年のドイツ。戦争で婚約者のフランツを亡くし、悲しみから立ち直れずにいるアンナはある日、フランツの墓の前で泣いている見知らぬ男性と出会う。アドリアンと名乗るその青年は、フランツと戦前のパリで知り合ったと明かす。フランツとの思い出話を聞き、2人の友情に心癒されていくアンナ。最初は敵国の人間と抵抗感を抱いていたフランツの両親も、アドリアンの人柄に触れるうち、いつしかこの息子の友人を温かく受け入れていくのだったが…。

【クレジット】

| | | | |
|---------|---------------|--------------------|-------|
| 監督 | フランソワ・オゾン | Francois Ozon | |
| 製作 | エリック・アルトメイヤー | Eric Altmayer | |
| | ニコラス・アルトメイヤー | Nicolas Altmayer | |
| | シュテファン・アルント | Stefan Arndt | |
| | ウーヴェ・ショット | Uwe Schott | |
| 脚本 | フランソワ・オゾン | Francois Ozon | |
| オリジナル脚本 | エルンスト・ルビッチ | Ernst Lubitsch | |
| 撮影 | パスカル・マルティ | Pascal Marti | |
| 美術 | ミシェル・バルテレミ | Michel Barthelemy | |
| 衣装 | パスカリーヌ・シャヴァンヌ | Pascaline Chavanne | |
| 編集 | ロール・ガルデット | Laure Gardette | |
| 音楽 | フィリップ・ロンビ | Philippe Rombi | |
| 出演 | ピエール・ニネ | Pierre Niney | アドリアン |
| | パウラ・ベア | Paula Beer | アンナ |
| | エルンスト・シュトツナー | Ernst Stotzner | ハンス |
| | マリー・グルーバー | Marie Gruber | マグダ |

| | | |
|---------------|-----------------------|---------|
| ヨハン・フォン・ビューロー | Johann von Bulow | クロイツ |
| アントン・フォン・ルケ | Anton von Lucke | フ란ツ |
| シリエル・クレール | Cyrielle Clair | アドリアンの母 |
| アリス・ドゥ・ランクザン | Alice de Lencquesaing | ファニー |